

# 注意 牛ボツリヌス症発生！！

令和4年6月、岡山県内の農家でボツリヌス症が発生し、甚大な被害が出ました。

本症は、ボツリヌス菌の出すC型、D型毒素が原因で、牛に起立不能や麻痺などの神経症状が起こる疾病です。

死亡率が高く大損害となるため、牛飼養農家は注意が必要です。

## 発生パターンと症状

発生には【食中毒型】と【感染型】があり（図）、特に【食中毒型】では、サイレージ等で菌が増殖・毒素産生していた場合、牛群単位で被害が出る恐れがあります。

牛は、ごく微量の毒素でも発症し、後躯から全身へと麻痺が広がり、起立不能・よだれなどの症状を示して、呼吸困難により死亡します。毒素の摂取量が多いと突然死亡する場合があります。

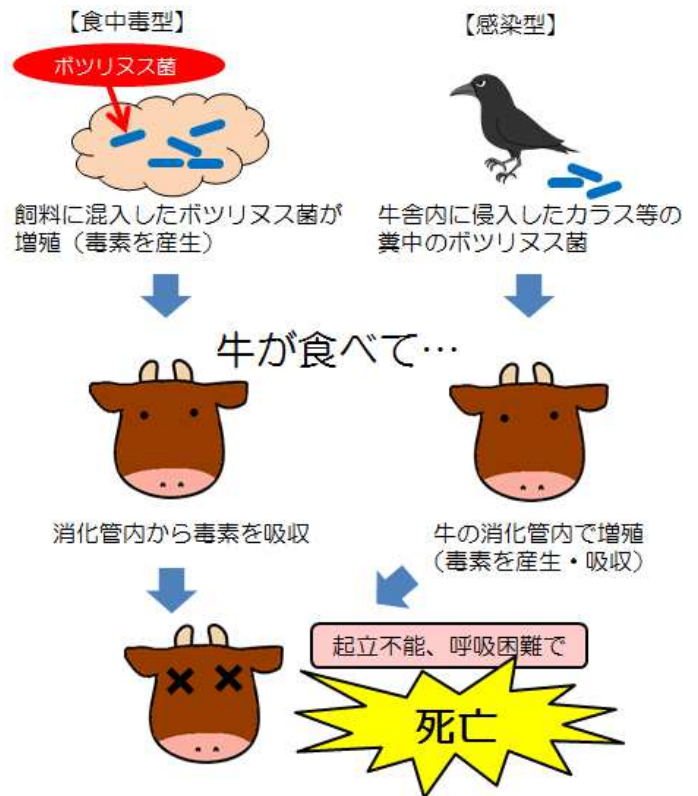


図 ボツリヌス症の発生パターン

## 治療法なし！ 発生予防対策が重要です！！

### 1 サイレージの適正な調整（食中毒型ボツリヌス症の予防）

発酵品質の悪いサイレージでは、菌が増殖し、毒素が産生されることがあります。サイレージの適切な水分調整に努め、変敗した部分は牛に与えないようにしましょう。

### 2 野生鳥獣侵入防止対策の徹底（感染型ボツリヌス症の予防）

ボツリヌス菌は、野生鳥獣の糞中にも含まれている場合があります。餌や水が汚染されます。カラスの糞便からの感染が疑われる事例も多く、防鳥ネットによる対策が有効です。また、飼水槽の定期的な点検や清掃・消毒等の衛生対策も大切です。

### 3 ワクチン接種による発症予防

トキソイドワクチンが市販されています。ただし、効果が出るまでには時間を要します。また、菌の感染・増殖は防げないので、ワクチン接種後も上記1・2の対策は継続してください。

疑わしい症状がみられたら、すぐに診療獣医師や家畜保健衛生所に相談しましょう！

<問い合わせ先>

家畜保健衛生所	連絡先（平日；8:30～17:15）	緊急連絡先（土日等）
岡山家畜保健衛生所	(086) 724-3880	090-5377-5921
井笠家畜保健衛生所	(0866) 84-8221	090-5376-2120
高梁家畜保健衛生所	(0866) 22-2077	090-5376-0758
津山家畜保健衛生所	(0868) 29-0040	090-5376-0158

